

ひみこちゃんが
「大和さくらい100選」
一度は行ってみたいスポットを紹介 - その37 -

桜井茶臼山古墳は、大字外山にある大型の前方後円墳で、鳥見山から北へのびる尾根の先を切断して造られたものだよ。墳丘の大きさは、全長約200m、後円部径約110m、高さ約24m。この古墳の特徴の1つで、竪穴式石室の内面には高価な水銀朱が塗られているの。それから、石室内からは木棺の一部や副葬品として、王の権威を示す玉杖、玉類、剣等が出土しているよ。その中でも玉杖は発掘された時、見た人みんながその美しさに心をうたれたみたい。それほど素晴らしいものの発見だったんだね。

また、この茶臼山古墳の墳丘の上から望める冬の景色はビュースポットにも選ばれているよ。古墳見学もできるし、行ってみてね！

今回は、桜井のとおきを選んだ「大和さくらい100選」に選ばれている桜井茶臼山古墳とメスリ山古墳を紹介するよ！



桜井茶臼山古墳全景



↑玉杖
提供：県立橿原考古学研究所附属博物館



↑大形円筒埴輪
提供：県立橿原考古学研究所附属博物館

メスリ山古墳は、桜井茶臼山古墳とともに大規模な前方後円墳で、大字高田、阿部、上之宮にまたがる丘陵の上にあるよ。墳丘の大きさは、全長約224m、後円部径約128m、前方部幅80mとされるんだけど、近年の調査で、古墳の裾部が埋没していることが確認されて、実際は全長250mに及ぶと考えられているんだって。

この古墳の特徴として、まず、使われている埴輪がとっても巨大なの。この埴輪は筒状の形状で、その中でも、口径約1.3m、高さ約2.4mもある円筒埴輪と呼ばれるものは日本最大なんだって。それから、内部は被葬者を埋葬した主室と副葬品だけを集めた副室と呼ばれる二つの竪穴式石室があることがわかっているよ。主室からは鏡、玉、剣など、副室からはたくさんの鉄製武器類等が発見されて、出土品はまとめて国の重要文化財に指定されたよ。現在、その一部は橿原考古学研究所附属博物館で見ることできるよ！



メスリ山古墳全景

橿原市畝傍町 50-2
☎ 24-1185

キニナル
キニナル



どちらの古墳も、国の史跡に指定されているよ。全長200mを超える巨大な古墳、内部の構造、多数の副葬品などからみて、古墳時代前期(3世紀後半～4世紀前半)に造られたものと考えられているの。

それに、ヤマト王権の大王の墓とも言われていて、どんな人物が眠っているのか気になるね。

「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課 (☎ 42-9111 内線 342)

twitter@himiko_chan

